

資料 7-3-②

令和4年(2022年)6月29日(水)
第7回市民参加推進審議会

市民参加実施状況報告書②

案件名	長期ビジョンの策定	実施所管	未来デザイン室
概要	本市の次なる100年に向け、2040年を展望した“ありたい姿”を市民とともに描き、実現するための「長期ビジョン」を策定する。	策定期間	令和2年(2020年)4月～令和5年(2023年)3月

1. 実施した市民参加の方法 令和元年度(2019年度)と令和2年度(2020年度)に実施したもの及び、令和3年度(2021年度)に実施予定のものを記載してください【三か年分】

(1)手法	(2)実施名称	(3)実施目的(期待する効果)	(4)期間・日時・会場	(5)周知方法	(6)参加者数等	(7)実施にあたって工夫した点
アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けた市民アンケート調査	市民の日常生活実態、市民自身の現在と将来に関する認識、本市の現在と将来に関する認識を把握し、長期ビジョンの策定に向けた議論の基礎資料とする。	令和3年1月	郵送にて個別送付	2,418	回答方法を紙媒体だけでなく、Webでも回答可能とした。 礼状兼督促状を送付し、未回答の市民に対して回答を促した。
アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けたWEBアンケート調査	同上の目的に加え、SNS等を通じてアンケートへの回答を呼びかけることで、若い世代からの意見を多く取得することを期待する。	令和3年3月	SNS等に掲載	1,037	市内の高校(19校)に対し、アンケートの回答協力を依頼した。 八王子商工会議所及び八王子観光コンベンション協会にアンケートへの協力依頼を呼びかけた。
アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けたふるさと納税者WEBアンケート調査	市外在住者から見た本市の魅力や力を入れた方が良い点を把握し、長期ビジョン策定に反映する。	令和3年4月～令和4年1月	ふるさと納税者へのお礼状にWEBアンケートの案内を同封	32	案内状に二次元コードを貼付することで、アクセスの利便性を高めた。
アンケート、聞き取り調査及びその他広聴活動	長期ビジョン策定に向けた小・中学生アンケート調査	次代を担う当事者である小学生・中学生の「将来に関する認識・考え」を把握し、長期ビジョン策定に反映する。	令和3年6月～7月	各学校へアンケートへの協力依頼送付	小学生 7,038名 中学生 8,061名	GIGAスクール構想で配布した端末によるWebアンケート方式を採用し、回答の際の負担軽減を図った。
ワークショップ	高校生ワークショップ	次世代を担う当事者である高校生の意見を長期ビジョンに反映させる。 高校生のまちづくりへの意識及び郷土愛を醸成・高揚する。	① 令和2年10月25日 ② 令和2年11月8日	市内の各高校に参加者推薦を依頼	① 15名 ② 14名	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、zoomによるオンライン開催とした。
ワークショップ	大学生ワークショップ	次代を担う当事者である大学生の意見を長期ビジョンに反映させる。 大学生のまちづくりへの意識及び郷土愛を醸成・高揚する。	① 令和2年10月11日 ② 令和2年11月29日	大学コンソーシアム八王子を通じて参加者を募集	① 21名 ② 13名	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、zoomによるオンライン開催とした。
パブリックコメント手続	長期ビジョン(素案)についての意見募集	長期ビジョン(素案)について、広く周知を行い、幅広く意見を求める。	令和4年1月～2月	ホームページ・CATV、映像配信・広報特集号、ワクチン会場ポスター等による周知 中学校区別WS参加者等に個別にお知らせ送付	69	周知用の啓発映像を作成し、YouTubeに掲載したほか、J:comのタウンナビで放映することで多くの市民に関心を持っていただけるよう試みた。
審議会等	懇談会	素案(案)に対し、学識経験者をはじめとした委員から、専門的視点による意見等をもらい、素案の策定の参考とする。	令和3年9月、10月、11月、12月、令和4年1月、2月、3月	関係団体等からの推薦及び市民委員等候補者制度を活用	委員16名 内学識経験者5名 公募市民等11名	新型コロナウイルス感染症防止の観点から、Teamsによるオンライン開催とした回を設けたほか、通常開催時も希望者はオンライン参加可能とした。
その他	オープンハウス	市民の集う市内数か所の公共施設にオープンハウスを設置し、長期ビジョン(素案)の内容について、幅広く意見を求める。	令和4年1月～2月(予定)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止とした。	-	代替手段としてパブリックコメントを重点的に周知することとし、以下の対応を行った。 ・関係機関を通じて団体等に通知 ・ワクチン接種会場にポスター及び資料配架

2. 市民参加実施スケジュール

スケジュール	年度	令和元年度(2019年度)												令和2年度(2020年度)予定												令和3年度(2021年度)予定											
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
策定期間																																					
アンケート																																					
ワークショップ																																					
パブリックコメント手続																																					
審議会等																																					
その他																																					

3. 市民参加の方法の組合せやスケジュールについて工夫した点

・様々なアンケートを組み合わせることで、幅広い年代から多くの意見を聴取することができた。
 ・小・中学生アンケート、高校生・大学生ワークショップについては、定期試験等に影響を及ぼさない日程を調整した。
 ・パブリックコメントの実施と併せてオープンハウスを実施することで、長期ビジョンの周知啓発と意見聴取の増加を目指す。

4. 市民参加の実施についての課題

・ふるさと納税アンケートについて、回答の回収率が芳しくなく、手法について検討の余地があると感じた。